# 「高校におけるインターンシップコーディネーターの配置」事業実施計画書

## 1. 実施主体

本事業を受託す る教育委員会

三重県教育委員会

### 2. 委託内容に対する取組

支援の対象となる学校

普通科高等学校を中心とした

生徒全員を対象にインターンシップを実施していない県立高等学校

●高校生が職業への円滑な移行 に必要な力を身に付ける

高等学校

インターンシップ の実施・拡大

受入事業所の開拓・体験先事業所との調整 体験を効果的に行うためのプログラム開発支援 安全面の配慮、危機管理等のアドバイス ●地域・事業所が一体となって 地域・職業の担い手を育成する

地域·事業所

支援対象校全体 に対するインター ンシップの推進体 制

(図などを用いて 体制が分かるよう に示すこと)

充実した体験活動 (事前・事後指導)

必要な職業能力と学習活動の関連付け

生徒の勤労観・

職業観の醸成



コーディネーター 1名配置

三重県教育委員会

三重県教育委員会Webページ内 「三重県職場体験・インターンシップ受入事業所の案内」

教育への参画を 通しての社会貢献

受入プログラム の開発

地域・職場の活性化担当者の意識向上



新規受入事業所の 情報の掲載

掲載済事業所の 情報確認と更新



### (1)学校の希望に応じた多様なインターンシップ受入先を開拓すること

※それぞれの学校における目標や目指す生徒像等を意識しながら、学校のニーズに合致したインターンシップ先を 準備すること

インターンシップコーディネーターを活用し、インターンシップの受入れに協力してもらえる事業所を積極的に開拓するとともに、新たにインターンシップに取り組む学校や事業所に対して導入時の支援を行う体制を整備する。

インターンシップコーディネーターは、各学校のインターンシップ推進のための組織等と連携を図り、当該学校の生徒が将来の就職・進学の準備として、積極的に体験させたい業種・職種のインターンシップが実施可能となるように商工会議所やNPOをはじめ、職能団体等と積極的に連携を図る。

#### (2) 開拓した受入先及び受入れ条件等を一覧表などにデータベース化すること

インターンシップコーディネーターは、三重県教育委員会Webページ「三重県職場体験・インターンシップ受入事業所の案内」に、新たに開拓した事業所の情報について登録を行い、掲載済事業所の情報確認と更新を行うことで、学校が積極的にデータベースを活用する体制を整える。

なお、事業所は県内8地域別に検索できるようにする。

- ①桑名・員弁 ②四日市 ③鈴鹿・亀山 ④津 ⑤伊賀 ⑥松阪 ⑦南勢志摩 ⑧東紀州また、業種と職種のマッチングを図るために、次のカテゴリで検索できるようにする。
  - 業種:①農業·林業·漁業 ②建築·製造 ③電気·水道·通信·運輸 ④卸売·小売
    - ⑤金融・保険・不動産 ⑥宿泊・飲食・サービス ⑦教育・保育 ⑧公務 その他
  - 職種:①専門・技術 ②事務 ③販売 ④サービス ⑤保安 ⑥農林漁業 ⑦運輸・通信
    - ⑧生産 その他

# (3)(2)で作成したデータベースを教育委員会及び高等学校で共有し、学校や生徒に継続的に幅広く情報発信を行うこと

三重県教育委員会Webページ「三重県職場体験・インターンシップ受入事業所の案内」の積極的な活用を促すために、高等学校をはじめ事業所・関係機関にデータベースの存在を広く周知する。

インターンシップコーディネーターは、各学校のニーズに合わせて受入事業所の情報を定期的に紙資料として発行すると同時に、地域・業種・職種の分類など、どうすれば生徒・教員にわかりやすく情報を伝えることができるかについて研究する。

#### 3. 教育委員会における取組

高校生が職業への円滑な移行に必要な力を身に付けるために実施するインターンシップの拡大・充実を図るため、インターンシップコーディネーターを任用し、受入事業所の開拓のほか、体験を効果的に行うための学校・事業所への支援を行う。

特に、進学者が多い普通科高等学校の実態に合ったインターンシップの実施方法について研究し、大学や行政機関をはじめ、法曹関係者等と連携を図ることで、生徒が目標にしている職業分野での体験が可能となるように取り組む。

また、市町教育委員会と連携して中学校の職場体験活動の実施状況をとりまとめるとともに、高等学校のインターンシップの実施状況と組み合わせて地域毎に情報発信することで、中学生、高校生の体験を受け入れる企業が中・高のつながりを意識した実施に向けて協力しやすい環境づくりを行う。

さらに、企業、経済団体、中学校、高等学校の担当者が一堂に会し、「発達段階に応じた効果的な就業体験の在り方について」をテーマにパネルディスカッションを行い、各学校段階で効果的に就業体験を行うために必要な連携方策について意見交換を行う場をつくる。